



— Ver.6.3.2 変更点について —

NTTアドバンステクノロジー株式会社

はじめに

■ Ver.6.3.2で変更になったことについて解説いたします。

1. 機能追加・・・シナリオ作成・保守に関する操作性の機能追加
2. 機能改善・・・シナリオ作成・保守に関する操作性の機能改善
3. セキュリティ対策
4. 不具合対応
5. その他

各ライブラリの機能改善及び不具合対応につきましては、別紙『WinActor v6.3.2 ライブラリの変更点(xlsxファイル)』をご参照ください。

Ver.6.3.2 変更点一覧

| | | | |
|---|----------|-----|--------------------------------------|
| 1 | 機能追加 | (1) | Microsoft EdgeのIEモード対応 |
| | | (2) | シナリオ中のライブラリ情報のCSVエクスポート機能 |
| 2 | 機能改善 | (1) | 管理サーバ接続時の通信量低減オプション追加 |
| 3 | セキュリティ対策 | (1) | Java実行環境のバージョンアップ |
| 4 | 不具合対応 | (1) | 設定ファイルが破損する不具合修正 |
| | | (2) | プロキシ設定ありのブラウザ起動ライブラリの不具合修正 |
| | | (3) | webdriverの置き換えができない不具合修正 |
| 5 | その他 | (1) | Microsoft Edge(EdgeHTML版)サポート終了に伴う変更 |

変更点の表記について

このリリースノートではライセンス、機能毎の違いを説明するために、次の表記を用います。



この表記がある場合、NL版でご利用できます。



この表記がある場合、FL版でご利用できます。



この表記がある場合、フル機能版でご利用できます。



この表記がある場合、実行版でご利用できます。



この表記がある場合、管理実行版でご利用できます。

1. 機能追加

1. (1) Microsoft EdgeのIEモード対応

Microsoft Edge(Chromium)のIEモードに対応しました。

IE11 の代替としてお使いいただけます。

Microsoft EdgeのIEモードで開いたページを判別し、IE記録モードでの自動記録や、シナリオ実行での自動操作が可能となります。対象のWebページをIEモードで開く際は、Microsoft社の公開情報(※1)を参考に事前準備の上でご利用ください。

作成済みのシナリオにおいて、04_自動記録アクション配下のノードについては、シナリオの修正は不要です。(※2)

17_IE関連配下のライブラリについては、シナリオ中の古いライブラリを新しいライブラリへ置き換える必要があります。

※1 2021年10月時点では以下にIEモード設定手順が紹介されています。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/deployedge/edge-ie-mode-policies>

※2 Microsoft Edgeのプロファイル名を「プロファイル 1」や「個人」から変更し、ハイフン(-)を含むプロファイル名とされていますと、IEモードのMicrosoft Edgeに対して記録したウィンドウを見つけられずシナリオ実行に失敗します。その際は、お手数ですがハイフンを含まないプロファイル名へ変更いただくか、自動生成されたウィンドウ識別ルールの修正をお願いします。

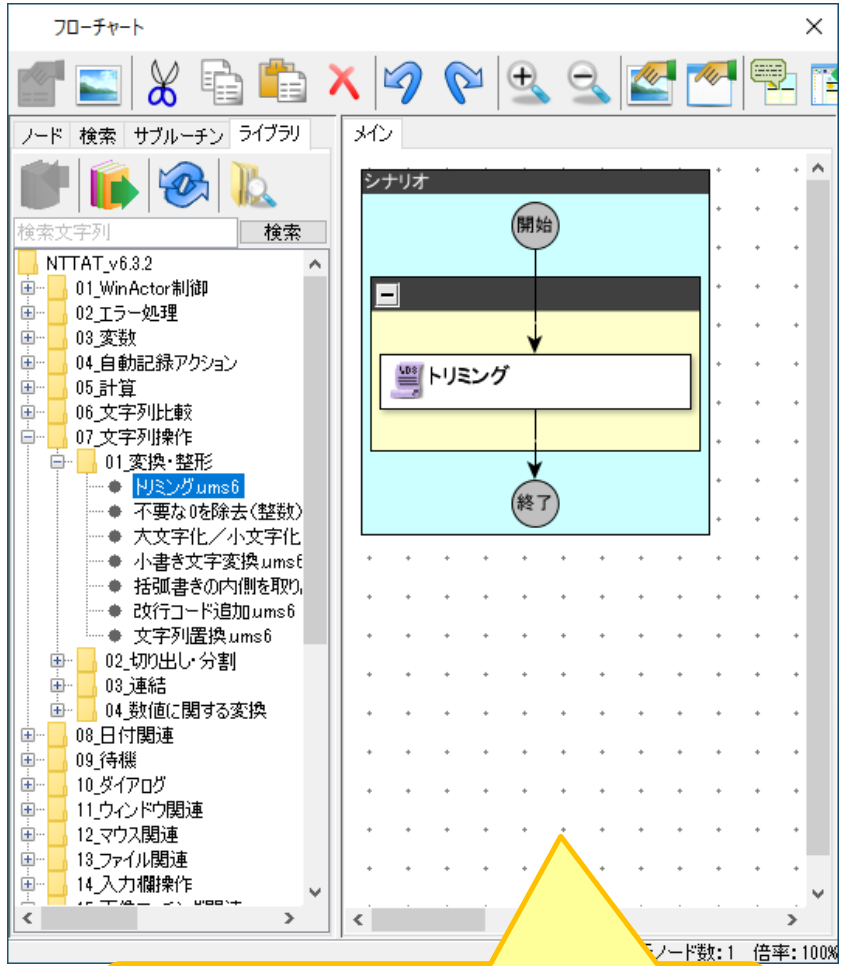


IEアイコンは対象ページがIEモードで開かれていることを示しています。

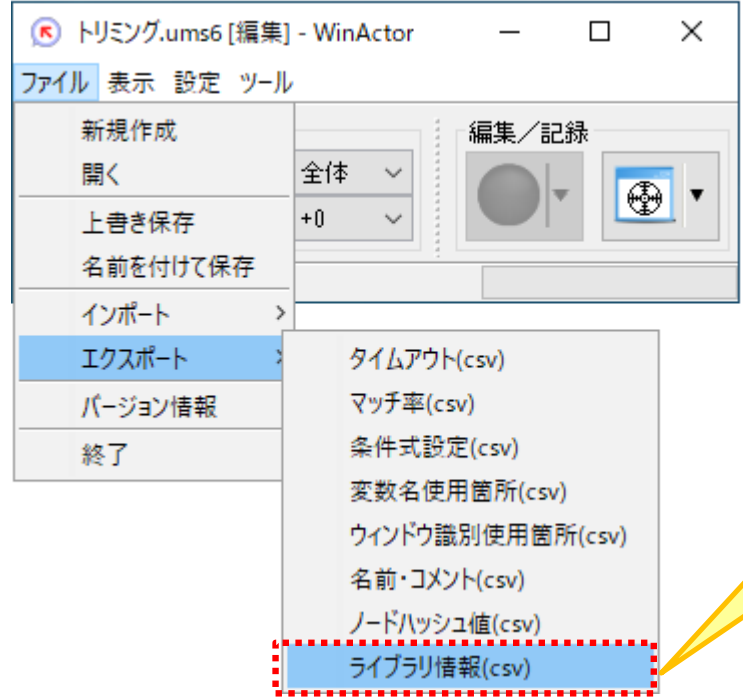
対象ウィンドウ選択時にIEモードを自動判別し、IE記録モードで記録します。

1. (2)シナリオ中のライブラリ情報のCSVエクスポート機能

シナリオ中のライブラリ情報をCSV形式で出力できるようになりました。

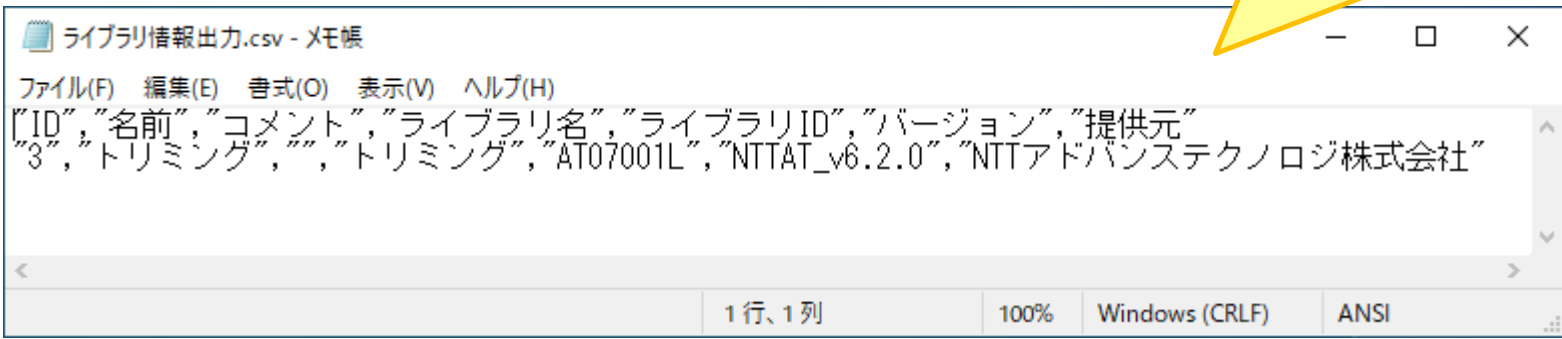


ライブラリを含むシナリオ



[ファイル]→[エクスポート]→[ライブラリ情報(csv)]を選択し、表示されるダイアログでファイル出力先を指定

CSV形式のライブラリ情報



2. 機能改善

2. (1) 管理サーバ接続時の通信量低減オプション追加

管理サーバ接続時の通信量を低減するオプションを追加しました。
本オプションを有効にすることで、管理サーバとWinActor間のネットワーク負荷を減らし、
管理サーバへの接続エラーの発生頻度を下げられることがあります。

The screenshot shows a dialog box titled 'サーバ接続設定' (Server Connection Settings). It has tabs for '管理サーバ' (Management Server), 'プロキシサーバ' (Proxy Server), 'サーバ接続状況' (Server Connection Status), and 'ログサーバ' (Log Server). The '管理サーバ' tab is selected. There are two sections for '管理サーバ1' and '管理サーバ2'. Each section has fields for 'URL', 'パスワード' (Password), 'クライアント証明書' (Client Certificate), and '証明書パスワード' (Certificate Password). A '接続チェック' (Check Connection) button is next to the URL field in each section. A 'クリア' (Clear) button is at the bottom right. A checkbox labeled '通信量を低減する' (Reduce communication volume) is highlighted with a red dashed box. Below the dialog, there are two notes: '※管理サーバからの指示で動作する場合、サーバ1の入力は必須です。サーバ2はサーバ1に接続できなかった場合に接続するための設定項目(任意)です。' and '※クライアント証明書を要求するサーバに接続する場合は、クライアント証明書欄、証明書パスワード欄を入力してください。'

3. セキュリティ対策

3. (1) Java実行環境のバージョンアップ

WinActorで使用しているJavaの実行環境(JRE)を、2021年10月18日時点の最新版(AmazonCorretto8.302.08.1)にバージョンアップしました。

4. 不具合対応

4. (1) 設定ファイルが破損する不具合修正

Windows10などのクライアントOSに標準ユーザー用インストーラーでインストールしたWinActorをご使用中にライセンス情報を含む設定ファイル(reg.ini) が破損する不具合を修正しました。

設定ファイルに書き込む際には他のファイルに一度書き込みを行ったうえでファイルの置き換えを行うことで、設定ファイル書き込みの安定性を向上させています。



「ブラウザ起動(プロキシ設定)」、及び
「ブラウザ起動(ドライバ指定・プロキシ設定)」ライブラリの実行時にエラーとなる
不具合を修正しました。

Google ChromeとMicrosoft Edgeの古いwebdriverを配置し、該当するブラウザ操作を含むシナリオを実行後、WinActorを終了したのち、webdriverの置き換えができない不具合を修正しました。

5. その他

5. (1) Microsoft Edge(EdgeHTML版)サポート終了に伴う変更 FULL 実行 管理

2021年3月9日の Microsoft Edge(EdgeHTML版) のサポート終了に伴い、WinActorでは Microsoft Edge(EdgeHTML版) をサポート対象から除外します。

リリースファイル

| No. | ライセンス種別 | ファイル種類 | ファイル名 | インストールについて、注意事項 |
|-----|-------------------|---------------------------------|--|--|
| 1 | ノードロック版 | 管理者ユーザー用インストーラー (兼アップデートツール) | WinActor_v632_i_expire_ YYYYMMDD_XXdays.zip | ノードロック版は原則としてこのファイルをご利用ください。管理者ユーザーとはWindows OS の管理者権限が付与されたユーザーとなります。 |
| 2 | | 標準ユーザー用インストーラー (兼アップデートツール) | WinActor_v632_inp_expire_ YYYYMMDD_XXdays.zip | インストールする端末に管理者実行権限がない場合など、No.1でインストールできない場合にご利用ください。 |
| 3 | | Cloud Library配信用 アップデートツール | WinActor_v632_cl_expire_ YYYYMMDD_XXdays.zip | 更新元が標準ユーザー用インストーラーでインストールしたノードロック版Ver.6.3.0または6.3.1のときのみ更新可能です。新規インストールはできません。 |
| 4 | フローティング ライセンス版 | 管理者ユーザー用インストーラー (兼アップデートツール) | WinActor_v632_FL_i.zip | フローティングライセンス版は原則としてこのファイルをご利用ください。 |
| 5 | | 標準ユーザー用インストーラー (兼アップデートツール) | WinActor_v632_FL_inp.zip | インストールする端末に管理者実行権限がない場合など、No.4でインストールできない場合にご利用ください。 |
| 6 | | Cloud Library配信用 アップデートツール | WinActor_v632_FL_cl.zip | 更新元が標準ユーザー用インストーラーでインストールしたフローティングライセンス版Ver.6.3.0または6.3.1のときのみ更新可能です。新規インストールはできません。 |

★アップデートの際の注意点★

管理者ユーザー用インストーラーでインストールした場合は、管理者ユーザー用インストーラーでアップデートをしてください。

同様に標準ユーザー用インストーラーもしくはZIP解凍版でインストールした場合は、標準ユーザー用インストーラーでアップデートをしてください。

管理者ユーザー用インストーラーでインストールした状態で標準ユーザー用インストーラーでアップデートしたり、標準ユーザー用インストーラーでインストールした状態で管理者ユーザー用インストーラーでアップデートしたりしないでください。

WinActor[®] Ver.6.3.2 変更点について

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2013-2021 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-H-1104